

感染症予防対策事業

■背景

今夏、デング熱の国内感染が広まり、さらに西アフリカでエボラ出血熱の発生が続いているなど、新たな感染症の脅威が世界さらに国内へと拡がりつつある。これらの脅威から市民の生命と健康を守るため、感染症対策の充実が求められている。

■現状と課題

感染症対策は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、保健所を基本単位として実施されるものであり、本市においても、エボラ出血熱等1類感染症や新感染症等にも十分に対応できる体制の構築が求められている。万一の事態に備え、患者対応に必要な医療器材や装備を揃えるとともに、高度な専門的知識・技能を備えたスタッフの育成が急務である。

■対応

従来の感染症予防対策事業を拡大し、患者搬送や消毒等に必要な車両や機材、患者及び接触者の健康管理の対応に必要な経費を計上する。

新たな感染症予防対策にかかる事業費：22,695千円

【事業費の内訳】

事業内容	費目	要求額	内容
デング熱対策 300	備品購入費	300	蚊捕集用トラップ @30,000円×10個
エボラ出血熱対策 22,395	旅費	145	検体搬送（東京出張）
	消耗品費	2,500	搬送・消毒用PPE（個人防護服） 搬送用消耗品（消毒液、防水シート他）
	印刷製本費	800	市民周知用チラシ
	委託料	3,200	チラシ市内各戸配布
	使用料及び賃借料	750	疑似症患者接触者待機場所借上料
	備品購入費	15,000	患者搬送車両（車イスリフト付き）買替
合計		22,695	